

語句説明一覧表

2ページ	
土地区画整理事業	都市基盤が未整備である市街地や、市街化の予想される地区において、道路・公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整えることで、宅地の利用の増進を図る事業。
SDGs	平成 27(2015)年 9 月に国連で採択された「持続可能な開発目標」の略称 (SDGs : Sustainable Development Goals)。令和 12(2030)年を目標年次として、世界全体で社会が抱える問題を解決し、明るい未来を生み出すための 17 のゴール (目標) と 169 のターゲット (達成基準) によって構成されている。
3ページ	
人口の年齢構成の リバランス	高齢化が急速に進行する中、安定した行財政運営を行い、充実した市民サービスを継続的に提供するために、子育て世代を本市に誘引することで、人口の年齢構成のバランスを補正し平準化を図ること。
8ページ	
都市計画基礎調査	都市計画法に基づき、都市現況及び将来の見通しを定期的に把握するための調査。概ね 5 年ごとに、人口規模、産業分類別の就業人口規模、市街地の面積、土地利用状況、交通量等に関する調査を行う。
13 ページ	
乗合い事業	シルバー世代、妊婦、障害者等を対象に、電話 1 本で、対象地区内の目的地 (自宅、バス停留所、スーパーマーケット、病院等) まで無料送迎する市の事業。対象地区は成田・仁和寺・河北の 3 地区 (2021 年 7 月時点)。タクシー車両を使用。
14 ページ	
ICT	Information Communication Technology の略で、情報や通信に関連する技術の一般の総称。
AI	Artificial Intelligence の略で、「人工知能」と訳される。人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術、又は人間の知的営みを行うことができるコンピュータプログラムのこと。

14 ページ	
DX	デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation) の略称。 経済産業省のDX推進ガイドラインにおける定義では、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」とされている。
15 ページ	
インフラ施設	インフラストラクチャー (Infrastructure) 施設の略称。生活基盤となるもので、道路、河川、水路、鉄道、公園、上下水道、公営住宅等の社会基盤施設のこと。
減災	被害を防ぐ「防災」に対し、「減災」はある程度の被害を想定した上で、その被害をできるだけ「減らす」ことを目指した、事前準備や取組のこと。
グリーンインフラ	自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方。 社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるものを指す。
ハード面	道路、公園、建築物等、具体的な形のある要素のこと。
ソフト面	人材、技術、意識、情報、活動、制度等、具体的な形のない、無形の要素のこと。
脱炭素社会	温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざす社会のこと。 「実質ゼロ」とは、温室効果ガスを全く排出しないということではなく、省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入により、エネルギーの使用に伴う温室効果ガスの排出量を減らすとともに、森林等の二酸化炭素吸収源による除去量を増やすことで、温室効果ガス排出量と吸収量を差し引きゼロにすることを指す。
ポストコロナ	コロナ禍後の社会のこと。ほぼ同義の言葉として、「アフターコロナ」がある。

15 ページ	
ニューノーマル	New (新しいこと) とNormal (正常、標準、常態) を合わせた造語であり、「新しい生活様式」と訳される。一般的には、コロナ禍後の新しい生活様式のこと。
22 ページ	
密集住宅地区	老朽化した木造建築物が密集し、かつ道路・公園等の公共施設が十分に整備されていないため、火災・地震が発生した際に延焼防止、避難に必要な機能が確保されていない状況にある市街地。
まちのリノベーション	既存の不動産を再生させ、新しい機能や価値を付与することで、まちの魅力の向上、地域の活性化につなげる取組。
施設一体型小中一貫校	小学校と中学校の校舎の全部又は一部が一体的に整備され、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う学校。
交通弱者	シルバー世代、障害者、妊婦、子ども等、自分で運転することができず、自家用の交通手段がないため、公共交通機関に頼らざるを得ない人のこと。
25 ページ	
主要生活道路	消防車等の緊急車両の進入や地区内の通行を円滑にするために指定した道路。幅員 6.7m を標準として、沿道の建物が建替えられる際に、土地所有者の御協力を得ながら、順次整備を進めている。
30 ページ	
市民サービスのターミナル化	公共交通機関の結節点である駅周辺に「市民サービスの提供」のための施設を集約すること。
都市再生推進法人	都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定するもの。市町村は、まちづくりの新たな担い手として行政の補完的機能を担いうる団体を指定できる。寝屋川市では、「アドバンス寝屋川マネジメント株式会社」が指定（2021年8月時点）されている。
防災街区整備地区計画制度	火事・地震が発生した場合の延焼防止や避難路確保等に支障をきたしている地区において、必要となる道路・公園をはじめとした公共施設等を整備し、防災性の向上と土地の合理的かつ健全な利用を図るための都市計画のこと。

30 ページ	
京阪本線連続立体 交差事業	京阪本線の寝屋川市駅から枚方市駅間の香里園駅、光善寺駅、枚方公園駅周辺にかけて、道路整備の一環として、道路と鉄道との交差部において、鉄道を高架化することによって、多数の踏切を一挙に除却し、踏切渋滞、事故を解消する等都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業。
31 ページ	
ふるさとリーサム地区	打上新町・小路北町第2・明和自治会地区のこと。平成23年にまちづくりを考える会が組織されて以降、「自然、歴史、文化を活かし、“人にやさしく、人とまちがつながる” 便利で住みよい、地域特性を活かしたまちづくり」に向けて、まちづくりに関する取組が続けられている。 【地区名の由来】 各地区のイニシャルであるSUM（小路北町第2のS、打上新町のU、明和のMの）と、「ふるさとに戻る（RETURN）」のREを合わせてRESUM（リーサム）地区としている。
街なみ環境整備方針	住宅が密集し、生活道路等の地区施設が未整備である等、住環境の整備改善を必要とする区域において、住宅、道路、公園等の地区施設の整備改善を行うことにより、地区住民の発意と創意を尊重したゆとりとうるおいのある住宅市街地の形成を図ることを目的とした「街なみ環境整備事業」における方針のこと。
37 ページ	
パークマネジメント	公園の特性を踏まえて、目指すべき方向性やその取組等を定め、整備、管理運営、公園経営の方針等を示したもの。
基幹管路	導水管、送水管及び配水本管の総称。
小口径管路	口径の小さい管路のこと。配水管においては、口径50mmの管路のこと。
39 ページ	
雨水貯留施設	雨水を一時的に貯めたり、地下に浸透させたりして、下水道・河川への雨水流出量を抑制する施設。
防災協力登録農地制度	災害時に市民の安全と円滑な復旧活動に役立つ用地の確保を目的に、地震等の災害が発生したときに食糧生産の場である田んぼや畑として利用されている農地を一時避難空間や復旧資材置場等として利用できるよう、農家の協力を得てあらかじめ登録する制度のこと。

40 ページ	
生産緑地	市街化区域内において、農業の継続を条件に、固定資産税・相続税等の税務上のメリットを受けることができる農地等のこと。生産緑地の確保により、災害時の避難場所としての機能や、生活の中で身近に緑に触れ合える場としての緑地機能等の向上が期待されている。

●●ページ	
大阪ミュージアム構想	大阪府全域を『博物館』、歴史的なまちなみや豊かなみどり・自然等をはじめとした魅力的な地域資源を『展示品』と見立て、それら『展示品』を発掘・再発見し、磨き・際立たせ、まちの魅力を内外に発信する大阪府の取組のこと。2021年8月時点で、寝屋川市内の『展示品』は45ヶ所登録されている。
●●ページ	
CSR	企業の社会的責任 (Corporation Social Responsibility) の略。企業が経営理念や行動基準等に基づき、事業活動を通して自主的に社会貢献を果たすこと。